



「米国子会社 操業20周年
セレモニーと拡張工事 起工式」

～ サカエ理研工業(株) ～



NewsTribune photo/Kemp Smith
Dignitaries toss shovels of dirt Friday afternoon at Eakas Corp. in north Peru in a symbolic gesture to signify the beginning of a major expansion of the facility. They include (from left) Jeff Wagner, plant manager; Teresa Kurtonbach, northwest regional manager of Department of Commerce and Economic Opportunity; Joe Harrold, plant manager, Eakas Arkansas and project manager; Marci Duro, Illinois Valley Area Chamber of Commerce executive director; state Rep. Frank Mautino (D-Spring Valley); Scott Harl, Peru mayor; Tom Mori, Eakas president; Bob Vickrey, director of community development, Peru; Hidaki Okano, managing director, Sakae Riken, parent company of Eakas; and Yochi Okano, general manager, Eakas in Arkansas.

「地元紙の紹介記事」

10月7日 当社最初の海外拠点である米国子会社 Eakas Corporation (イリノイ州ペルー市) において、操業開始20周年セレモニーと工場拡張の起工式が行われました。

当日は、地元イリノイ州政府代表、ペルー市長、地区商工会議所代表らの来賓をお招きし、来賓スピーチ、Eakas 代表/親会社である当社代表によるスピーチから始まり、秋晴れの快晴の中、拡張工事の鍬入れ式を行いました。

来賓のスピーチの中では、20年前のイリノイ州ペルー市への工場建設と、今回の工場拡張に対しての感謝の言葉と共に、地元経済活性の期待感が述べられました。

また、主催者側を代表して Eakas 社の森社長、ワグナー工場長から永年に渡り会社を支え続けて頂いた、イリノイ州、ペルー市、従業員に対して感謝の気持ちと、これから始まる新事業への意気込みを述べさせていただきました。

セレモニー終了後、場所をペルー市ダウントアウンのレストランに移し、来賓、地元関係者、Eakas 社幹部、当社代表者に加え、代表従業員を交えた夕食会を催し、その席上でペルー市長から工場拡張に対し記念の楯が贈呈されました。

今回の拡張工事は、Eakas社の永年の夢であったプラスチックめっき事業開始に伴うもので、北米でも当社コア技術を活かしたものづくりに取り組み、品揃え豊富なフルサービスを通して、お客様、周辺地域に喜んで頂ける企業として今後も成長し続けていく決意を新たにしました。



「地元市長から記念楯を贈呈」



「来賓の方々と」